

発信！地域自慢⑤
大館地区

まちづくりゼミナール ～地域の将来と夢を語る～

☎市民連携推進課 ☎ 43・9182 FAX 47・1485

大館地区で行われているまちづくりのための話し合い、「まちづくりゼミナール」について、大館地区自治振興会の蟹沢幸治会長と大館公民館の戸耒富美子館長にお話をうかがいました。

○まちづくりゼミナールとは？

戸耒館長 住民が集まり、地域をどうしたいか、という夢を語り合う場です。他人の意見を否定しないこと、実現不可能な夢やアイデアでも言うてみることを心がけて話し合いをしています。昭和33年に大館村が八戸市に合併した頃から行われているものですが、まちづくりゼミナールという名前になったのは平成17年度からです。

○これまでの成果

蟹沢会長 今年で9回目となる「新田城まつり」や、地域の伝承などを題材にした「大館ふるさとかるた」の作成、大館の名所や歴史を紹介する「史跡案内板」の設置など、大館の歴史を生かし、地域への愛着や誇りを持ってもらうためのアイデアを形にしてきました。地域の活動のほとんどは、このゼミナールから生まれたとも言えます。

○将来を担う子どもたちとも意見交換

戸耒館長 これまで、大人目線で地域づくりを考えてきましたが、昨年は「出張ゼミナール」と称して、新井田小学校で地域の歴史やまちづくり活動を説明したほか、

大館中学校の生徒にゼミナールに参加してもらいました。子どもたちからは、地域内で危険だと思う場所など、今後のまちづくりの参考となる意見を聞くことができました。これをきっかけに、子どもたちも地域のことに興味を持ってくれたと思います。

○地域をさらに盛り上げていくために

蟹沢会長 ゼミナールでの話し合いを通じて、まちづくりの基礎となる人のつながりが作られてきました。今後もゼミナールを継続し、住民の力を合わせてまちづくりをすすめていきたいと思っています。



小学校での出張ゼミナール



新田城まつりの武者行列